



青き楓

島高だより
平成27年6月号
(通巻第111号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長随想 湧水抄

「独りの時間」の大切さ



校長 北浦剛資

島高生の「S」は「Stoic」のS。独りの時間が、自己の内面を磨いてくれる。

■「独り」でいると不安!?

「ランチメイト症候群」という言葉を聞いた。学校や職場で、一緒に食事をする相手がいないことに一種の恐怖感を覚えるということらしい。「1人で食事をする」ということは「その人に友人がいないから」ということになり、友人がいないのは「その人に魅力がないから」ということになって、だから周りから「魅力がなく価値のない人間」と見られるのを恐れるのだという。そこでランチメイトを確保できない者は、1人で食事する姿を同僚や友人に見られないよう、図書館などで隠れて食べたり、食事を摂らなかったりするそうである。場所が見つからず、トイレに隠れて食べる「便所飯」という言葉まであるそうだ。馬鹿らしい。1人で食事をするのを、周りが軽蔑するのも見られて恐れるのも、明らかに間違っている。1人で気ままに食べて、何が悪いのか。

■独りで「自分」と向き合う

特に中高生の場合、自意識が強すぎて周りの眼を気にするのは理解できる。だからといって1人でいることを決して恐れてはいけな。思春期にはむしろ1人でいる時間を長く持たなければ、内面的な成長ができないと思う。大勢の中でもぼんやりと物思いをすることはできるが、自分自身を見つめ物事を筋道立てて考える「思索」は、1人でなければできない。期末考査中であるが、友達と一緒に勉強なんて、ほとんど身につかない。とことん真理を追究する真摯な自己問答があって始めて、納得と理解に到達できる。特に日本人には群れることを好む人が多いようだが、それこそ結局自分に自信が持てない恐怖症ではないのか。常に人とつながってなければ不安を覚えるという昨今のネット依存の状況も気になる。「孤高」という言葉がある。「自分とは何か」「自分の光る個性は何か」を見極め、「孤独になる勇氣」と「孤独を楽しむ能力」をぜひ身につけてもらいたい。

放送部

第62回NHK杯全国高校放送コンテスト県央地区大会

【朗読部門】

優秀賞	坂田 美穂	中村 蓮実
"	佐藤 優翔	酒井 彩希
"	吉永 龍朗	
優良賞	江越 仁弥	石井 杏奈

【アナウンス部門】

優秀賞	松崎 有希子
"	緒方 健人
優良賞	樫本 莉里花

主な部活動実績

※高総体の結果については
6月19日発行の「高総体
特集号」をご覧ください。
(ホームページにも掲載
しております)



教育実習を終えて



5月27日(水)～6月16日(火)の期間、6名の卒業生が教育実習を行いました。

◆長嶋 広晃(地歴)

最初は不安ばかりで、なかなか生徒たちとうまく接することができませんでした。しかし、生徒たちのほうから明るく話しかけてくれたので、忙しくも楽しく実習することができました。生徒と接する中で、より一層教員に対する気持ちが強くなり、これから教員になれるよう努力していきたいと思います。

◆稲田 李月(英語)

授業実践では思うように進まないことも多く悩みましたが、先生方のご指導のおかげで、最後の研究授業では一番納得のいく授業ができました。これからも勉強をつづけ、いつか教師として島高に戻ってきたいと思います。

◆松崎 春奈(音楽)

授業を行ってみての反省点は数多くありますが、この反省点を次に活かそうと学びを続けていくことが一番大切なことだと感じました。今後は残りの大学生活で、どれだけ多くのことを学べるかが勝負だと思っています。島高生の皆さんも、高校生活で多くのことを学び、吸収してください。

◆片山 将(数学)

実習中は担当のクラスによく顔を出していました。すると、生徒たちも休み時間に勉強や進路の話、他愛のない話をしてくるようになり、実習中ながらとても楽しかったです。初めは不安もありましたが「やって良かった」と思いました。

◆荒木 麻耶(国語)

先生はやはりすごい。改めてそう感じました。島原高校の先生方は、本当に生徒のための思い、どの言葉を選ぶべきか、どうしたら生徒の理解を得ることができるか、授業以外のホームルームや部活動など、生徒が意識していないようなところまで考えておられるのだとわかりました。短い間でしたが、大変お世話になりました。

◆岡本 浩大(数学)

いつも授業が終わると、生徒たちが理解してくれたか不安を感じ、改善しようと試行錯誤を重ねた日々でした。今回の経験をもとに、もっといい授業ができるよう努力します。

7月の主な行事予定

1日(水)	期末考査3日目	17日(金)	金の①②の授業 大掃除・終了式
2日(木)	期末考査4日目	18日(土)	全国高総体・総文祭壮行会 土曜講座(1年)
3日(金)	島高青楓塾(島原文化会館)		長大オープンキャンパス(2年)
4日(土)	土曜講座(全学年)		小論文模試・校内学習会(3年)
6日(月)	生徒会役員任命式・交代式 野球部・合唱部壮行式	21日(火)	授業設定日(～24日) 早朝補習あり
7日(火)	地学講座		三者面談(～31日)
9日(木)	進路講演会(3年)	22日(水)	理数科2年研修旅行(～23日)
11日(土)	進研記述模試(全学年) (3年:～12日)	25日(土)	土曜講座(全学年)
15日(水)	校内球技大会 (雨天時は木曜日の授業)	27日(月)	夏季補習(1・2年～31日)
16日(木)	校内球技大会予備日	28日(火)	島高学校説明会 ※裏面参照
			学習合宿(3年～8/3)

街角オーケストラ

管弦楽部部長 林田 恵

6月14日(日)サンプラザ万町にて、第8回街角オーケストラを開催しました。当日はたくさんの方にお越しいただきました。今回もクラシックからドラマ主題歌などのポピュラーソングまで様々な曲を演奏しました。



曲のリズムに乗って聴いてくださっている方も多く、私たちも楽しんで演奏することができました。会場に足を運んでくださった皆様、先生方、ありがとうございました。

この演奏会で3年生は引退となります。人数も減り、不安もありますが、演奏を通して皆さんに感動を届けられるよう、これからも精一杯がんばっていききたいと思います。

私たち合唱部は7月19日にアルカス佐世保で行われる九州合唱コンクールに出場します。今までの自分たちを超える演奏、さらに上位の大会へ進むことを目標に、日々練習に励んでいます。

課題曲は、鹿児島県の民謡である「知覧節」を、自由曲では人間の生を水の輪廻にたとえた混声合唱組曲「水のいのち」より「海よ」を演奏します。島高卒業生で合唱部OGの前田ゆりさんをピアニストに迎え、部員100名の歌声をホールいっぱいに響かせたいと思います。



合唱部部長
井村 恒太郎
合唱コンクールに
向けて

甲子園への道!

野球部主将 永田 稜

私たち野球部は、7月10日から行われる第97回全国高校野球選手権長崎大会に出場します。1回戦は長崎北陽台高校と対戦します。

去年は1回戦で敗れ、悔しい思いをするとともに、自分たちの力のなさを痛感しました。それから1年間、勝利を目指し、仲間と一生懸命野球に打ち込んできました。自分たちが野球をできるのも周りの方々の支えがあるからだと思います。甲子園を目指して全力でプレーし、最後の大会で結果が残せるようにがんばります。応援よろしくお願いします!

第1回戦 島原高校 対 長崎北陽台高校

日時：7月13日(月) 14:30 開始

場所：長崎ビッグNスタジアム



理数科の取り組み～有家川実習・課題研究発表会

理数科担当 菊枝 信孝

「環境教育～有家川の水質調査」

5月20日(水)、理数科1年生が環境教育の一環として有家川の水質調査を行いました。

講師を環境アドバイザーの小川保徳先生にお願いし、午前中に有家川の川底の生物を採取し、午後に学校に持ち帰り顕微鏡で指標生物(水質の程度を判定する生物)の種類や数を確認しました。知識と同時に、地元の自然についての環境意識も高めていき、一人ひとりが地元の自然を守り、よりよい環境にしていって欲しいと願います。



長崎県理数科高等学校課題研究発表会

物理2班 優秀賞受賞!

6月10日(水)に、諫早文化会館にて第9回長崎県理数科高等学校課題研究発表会が開催されました。本校からは口頭発表2班(物理2班)、ポスター発表5班が出場しました。物理の「プラズマ発光」の研究では実験装置を全て手作りし研究した点が、「弦の振動における波源(振動子)の振動」の研究では弦の振動でまだ解明されていない疑問点に注目して研究をすすめた点が高く評価され、優秀賞を受賞しました。物理班は8月6日、7日に行われる中国四国九州地区理数科課題研究発表大会でポスター発表の部に推薦されました。



平成27年度 島原高等学校 学校説明会

7月28日(火)

■全体会【島原文化会館 大ホール】 …13:30～15:30 (受付 13:00～)

校長挨拶

入学者選抜説明(高校入試ワンポイントアドバイス)

学校紹介

理数科紹介

■部活動見学・体験【各実施場所】 …16:00～

今年は文化会館にて説明会を行います。詳細はホームページをご覧ください。